

讃郷愛林協会だより



讃郷愛林協会

発行：讃郷愛林協会 〒682-0021 倉吉市上井335-51
電話0858-26-0118 FAX：0858-24-5118 Eメールeiiti@beach.ocn.ne.jp

当協会シンボルマーク。広葉樹や針葉樹の森に降った雨が川となり、地球の大地を豊かに潤すイメージを表現しています。



会長あいさつ

田栗 栄一

今年はあつという間に梅雨が明けました。原稿を書いている今時は例年なら松崎の花火が雨にならないか心配している頃ですが、今年は雨乞いしたくなる日々ですね！

私も70代になり2年経過しました。この暑さはいささかこたえるので、植樹地の草が気になるのですが、自分ちの畑の管理に朝（夕）に出かけるだけで、日中はなるべくじっとしています。

少し弱音を言うとうと、脳梗塞で入院してから5年が過ぎましたが、年々物忘れが増えてきたのと、以前は同時に複数の事をこなしていたのが、最近は一つが中々です。

しかし、涼しくなったらこうしよう、ああしよう、計画を思い描いています。お盆を

過ぎて朝夕涼しい風が吹き出した頃、役員会を開いて初秋以降の計画を具体化していきたいです。それまでに活動について、ご意見ご要望があれば、何でも連絡下さい。

【秋以降の活動計画】

◎決定案件

第2回研修会「打吹山で樹を観て森を観る」

講師 岡田直紀会員

日程 9月20日（土）

午前10時博物館東側駐車場前スタート 山頂

まで往復2時間の予定

天候次第で珍しいキノコが見られるそうです。

伐採研修会 毎年きのこ同好会主体で取り組んでいるクヌギのほかに、密に植えたケヤキのうち邪魔になつて

猛暑の中で

ら、5本前後譲つてもらいます。トリタン山駐車場、または集合場所に使っている平場の奥の斜面。従来芝桜の植栽等を計画していた場所

に植えてはどうかと考えています。

トリタン山の前から中央線のない狭い道を拡幅して県道とする工事が、この9月に完成する予定でしたが、道

追記 わが協会の活動ではないのですが、三朝温泉かじか蛙保存

の北側山の斜面が軟弱で、対応策がさらに必要となり、工事がさらに延びました。

植栽予定の樹木は庭木になるもので、ほとんど花を付けます。来年は花を楽しめるでしょう！

追記 わが協会の活動ではないのですが、三朝温泉かじか蛙保存

の北側山の斜面が軟弱で、対応策がさらに必要となり、工事がさらに延びました。

植栽予定の樹木は庭木になるもので、ほとんど花を付けます。来年は花を楽しめるでしょう！

追記 わが協会の活動ではないのですが、三朝温泉かじか蛙保存

者のほとんどが倒せるようになっていきますが、年々木も大きくなっています。我々の技量もアップさせましょう！

◎ほぼ決定事業

トリタン山整備事業

10月初旬～中旬、土

日午前。庭木の処分を予定しておられる方

<紙面内容>

- 2、3面 特集・座談会「米、コメを考える」
- 4、5面 会員ひろば
「欧州4週間の旅」福井宏一郎
「TVドラマ、エキストラ出演」田栗栄一
- 6面 活動記録写真
- 7面 「八橋・諏訪神社鎮守の森保全作業」報告 佐伯健二
- 「新ストーブから出た木質灰の活用」岡田直紀
- 8面 会員研修会報告「桂離宮」と「石山寺」など
「打吹山自然観察会お知らせ」

研究会が毎年、三朝温泉の上流部で植樹活動をしておられます。だんだん植える所がなくなつて、相談が入りました。

私の私有地である山の百年になる杉をこの春伐つて、その跡に杉のほかクヌギを植える考えでした。聞けば40本程度植える計画というので、お願いしました。

7月5日。植樹時期として一番悪い頃かと思いましたが、何も言わずに、植えてもらう立場として作業に参加しました。猛暑が続きますが、この日も暑かったです。

かじか蛙のグループとは今後も長いお付き合いをしていくつもりなので、木を育てることには、角が立たない程度にアドバイスをしていきますね！

参加した感想ですが、かじか蛙の会なので蛙の事は専門家で詳しい

特集

農業
ビバ！

出席者

川部 洋（県議会議員）
真木 明夫（大規模農業者）
田栗 明美（消費者）
田栗 栄一（消費者）

舟木 香織（消費者）
増田 美砂（消費者）
森下 義雄（農業者）
※あいうえお順



讃郷愛林協会は、最近の米価高騰を背景に「米（コメ）」をテーマに、会員による座談会を開催しました。生産者の視点から見た経営の現実、消費者の価格や食文化に対する認識、そして国の農業政策やJA（農協）の制度が現場に与える影響について、具体的な事例を交えて議論がありました。

中山間地域の農業が抱える問題、さらには農業の大切さ、やりがいなど、経済性だけではない精神的価値にまで話が及び、自然や里山を愛してやまない協会らしい充実した座談会となりました。司会は森下義雄副会長が担当。概要を紹介します。

「皆さんは、米とどのようにかわつておられますか？」

「湯梨浜町で約33畝の米作りを営んでおり、受託作業を含めると繁忙期の作業面積は50畝に及ぶ。耕起作業などを考慮すると、実際の作業量は耕作面積の3倍（90畝相当）になることもある。」

「厳しい状況ではあるが、米作りにはやりがいを感じており、将来的には50畝まで規模を拡大したいという意向を持っている」

「普段は米を購入せず、夫の実家（奥出雲）から米を分けてもらっている。実家の米を食べるようになってから、米の味には大きな違いがあることを実感した」

「親戚から米を購入しているため市場価格の変動を直接は感じていないものの、その供給も不安定になってきている。家庭での米の消費量自体が減少している」

「米は高くない」

「米の価格高騰よりもスーパーの棚に商品がないこと自体に大きな衝撃と悲しみを覚えた」

「報道では価格高騰ばかりが伝えられるが、生産コストを考慮した適正価格がいくらなのかという議論が不足している。1993年に

は米60kg当たり2万3千6百7円だったものが、一時は1万2千円台まで下落した。現在の価格も、特殊事情（冷夏による米不足）があつた1993年と比較すれば、極端に高いわけではない」

（3ページに続く）

特集

農業
ビバ！

座談会

米、コメを考える

「約35年前と比べて野菜の価格はほとんど変わっていない。資材や機械のコストが上昇する中で、農家はどうか採算を取っているのか」

「経営は家族3名が中心で、繁忙期には延べ百人規模の臨時雇用が必要となる。生産コストは10畝あたり約10万円かかる。これには一日15時間」

に及ぶこともある水管理や草刈りなど、数値化しにくい労働時間も含まれる。農業機械はコンバインが2千万円するなど非常に高価であり、大きな負担となっている」

「小売価格から逆算して、農家が持続可能となる販売価格を算出できるはずだ」

「農家はJAに米を出荷すると、まず概算金を受け取る。その後、JAの販売実績に応じて、差額が精算金として追加で支払われるか、逆に不足分を返還請求される仕組みとなっている」

「令和6年度の概算金は30畝あたり1万1千円で、前年の8千5百円から2千5百円上昇した。」

「米不足に戸惑い」

最終的には1千円から2千円程度上乗せされると見込まれている。

現行の制度では、米価の変動リスクはJAではなく農家が負っている。しかし、多くの農家は、自力での販路開拓や年間を通じた米の冷蔵保管設備の確保が困難なため、農協に依存せざるを得ない状況がある」

「国の農業政策はどうか」

「少し前まで米余りを背景に減反政策や米粉活用が議論されていたにもかかわらず、突如として米不足に陥ったことへの戸惑いがある。小泉農林大臣は、消費者目線であ

る一方、既存の仕組みや現場の実態を理解せずに混乱を招いている面がある。備蓄米の放出も、あくまで緊急的な対応であり、根本的な解決策にはなっていない」

「米価の議論

において、消費者の視点はかりが強調され、生産者の所得を安定させるための所得補償やセーフティネットが同時に語られていない。過去の民主党政権による10畝当たり1万5千円のような一律の補助ではなく、耕作面積に応じて最低限の所得を補償する制度が望ましい」

「県内で110畝の水田を3人で管理する大規模農業者の事例がある。AIやデータ農業、種籾の直播といった先進技術を導入している。このような大規模農業は補助金などに支えられている。」

その一方で、日本の農家の3割を占める中山間地の小規模農家が取り残される問題がある」

「農業を一括りにして語ることに違和感がある。米は食料安全保障や地域の自給自足の観点から重要である」

「中山間地域の農業を守ることは、国土保全の観点からも重要であり、これもまた別の政策的視点が必要である」

「中山間地域では人口流出が深刻で、住民が10人未満の集落もあり、『集落しまい』が現実的な話題となっている」

「一方、琴浦町では約10年間放棄されていた耕作放棄地が水田として再生される動きも見られる。農業は、経済性だけではなく精神的な大きな価値がある」

「畦草を刈って田んぼが綺麗になった時の達成感や、作業後に感じる山から吹く風や花の香りに幸せを感じる。農業がもたらす喜びだ」

「亡き父が残したメモから耕作の学びを得たり、先祖代々の土地を守ること」

「農業はやりがいがある」

「農家に希望を」

（終わり）

「米が大好きなので、農家が希望をもつて耕作できるようにしてほしい」



会員ひろば

5月の連休前後に、史枝と4週間近くブルガリア・ドイツ・フランスを旅行してきました。南フランスでの滞在が一番長く、夕食は地元のワイン、ハム、チーズ、パン、バター、野菜、果物などを買って楽しみました。海も山も食事も一流国のフランスです。

で、この前の日本の参議院選挙。既存政党が苦戦する中で、例えば参政党が日本ファーストを掲げて大躍進しました。ヨーロッパ（EU）ではいち早くフランスやドイツなどで移民排斥を唱える政党が議席を伸ばしています。アメリカでも、異形のトランプ政権が移民問題を前面に出し、貧しい白人たちの支持を得ました。先進国に共通する現象です。グロバリズムからナショナリズムへの萌芽なのでしょうか。

豊かになった先進国では過去の反省から、人種差別はよくない、弱い人を守る、平等に、といった正論で社会をよくしようとしてきました。政治的な正しさ

欧州4週間の旅

福井宏二郎



（ポリティカル・コレクトネス。略してポリコレ）です。そんな金持ちのリーダーの方針は、移民が増えた国の乗り遅れた人々にとって、伝統的に暮らしてきた共同体や家族の破壊をもたらしたと映ります。文化が違ふ人を見て、こいつ

らが社会を破壊したのだ、という主張は、耳に入りやすいのです。

こういう話はまた次回に。南フランスをレンタカーで旅行中に、スペインとの国境近くのピレネー山脈で撮った画像を添付しました。

8月は3週間ほどドニユーヨウクに滞在します。お盆に福庭にいないのは18年ぶりですが、家の周りの庭や山、そしてお墓はきれいにしましたので、ご先祖様、ご容赦ください。

（終わり）

暑くて熱い夜♪

船木 美穂子

6月20日に、第67回米子市音楽祭「GAJINAJAM」に行ってきました。

新割クラブ所属の中島伸一さんがメンバー（キーボード）の「こゝろめいバンド」を楽しんでいました。

中島さん、弾いていました！ 奏でていました！ 新割クラブの時とは何だか違った感じ。イケオジでした。素敵なライブでした。

（そうなる新割クラブの時は何オジなの？と聞かれると困ってしましますが（笑））

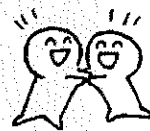
吉田拓郎と言えは、米子市出身の作詞家、岡本おさみさんが作詞された曲が多く、当日はそれらの曲をメインに演奏されました。せっかくの機会なのでライブに行く前に、米子市公会堂前広場の「岡本おさみ音楽記念碑」を訪ね、気分高め

追記 ①公会堂前の記念碑は有志の方の浄財で建ったもののように、たくさんある出資者の芳名欄の中に、この会報の編集長佐伯健二さんと奥さん、そして、こゝろめいバンドのリーダー松本公明さんの名前を発見したことを報告しておきます。

②作詞家岡本おさみの演劇と音楽イベント「逢いたい」旅に唄ありが10月18、19の両日、米子市公会堂大ホールで開かれます。

18日（土）は演劇 18時30分～20時。19日（日）は音楽 14時～17時。（田栗栄二）

会員ひろば



エキストラ出演のお誘いが森下義雄副会長からあったのは、協会定期総会の後の懇親会だったか、翌日に電話があったのか、今では判然としません。

それはさておき、人のお誘いは原則断らない性格の私は、総会運営でお疲れモード、どういいうドラマなのかも全く知らないまま、OKしたのです。

森下さんからもう10年近く前にシナリオライター倉本聰ひきいる富良野グループのお多居「走る」の地方公演（淀江の施設）に、協会の役員を中心に5、6人前後でエキストラ出演したことがあったからに相違ありません。

森下さんの息子のお

嫁さんが、やはりお芝居に興味があるそうで、湯梨浜の燕趙園でロケが予定され、エキストラを大勢探していると情報を寄せていただいたのです。

撮影は3月31日、4月1日の午後でした。2人は2日目の1日のみ参加しました。燕趙園の西側の駐車

影なのか知らなかったのです。原作は北方謙三の「水滸伝」で、TVドラマ化して、2026年にWOWOWで放送配信される予定の大作です。

主役の宋江に織田裕二、宋の盟友晁蓋に反町隆史。2人は見なかつたですが、佐藤浩市が衣装を着て、出てきま

TVドラマ、エキストラ出演

田栗 栄一

場に着くと、エキストラらしい人たちがすでに集まり始めていました。受付は温泉プールがある建物だったように思えます。

ここでドラマについて、改めて確認して報告します。（私は誘われて行ったので何の撮

話が挿入されていました。

俳優としてライバルであった亡父が名もなき人として暮らした同じ地で、今回メインキャストを演じる佐藤浩市。倉吉の空を見上げる彼の眼差しに三国への深い想いを感じたのは思い過ぎでしょうか。

私達エキストラは衣装に着替えて、メイキャップをしてもらうと、向かいの中華料理店で、出番待ちです。

私達のようにずぶの素人のほかに、アマチュア演劇に参加している人、そしてセミプロ以上で大阪の事務所から派遣された方がいましたね。このセミプロの人はセリフとも言えないような、短い叫び声「殺せ、殺せ！」などといった類のセリフがありました！

撮影が始まると言うので、全員現場に移動しました。集合場所は燕趙園の入り口で、中は既に舞台セットが完了してあります。そこで順番に並んだあとに、役割の説明は受けました。

芝居の筋書きはどうも水滸伝の主人公の仲間が、敵国でスパイ活動をしていて捕まり、大勢の人たちが広場で飲食をしている中を、引き立てられて行く群衆シーンです。エキストラ、スタッフを入れて百人は軽く、2百人でもいるように思えました。

私は商人という役柄でしたが、セットの中に入って分かりました。飲み屋のおやじで、燕趙園の入った右側に店があり、そこで待機してくれというのがです。

芝居の舞台は広い街中なので、私はラッキー、ここでお芝居を見学していれば良いなと思いましたが、これは間違っていましたね！

初めりハーサルがあるのですが、大きな酒德利を持って表のテーブルの客に酒をついで

回れ。罪人が引き立てられて来たら驚いた格好をしろ。セリフは貰ってないのに、何でもいから声を掛けろ、と注文が多いのです。でもりハーサルは順調。本番も一発OKでした。帰りにギャラは出なかったのですが、お弁当と主人公の著した本の書名らしい「替天行道」という言葉を表紙に印刷してある雑記帳をノベルティとしていただきました。何にしまも貴重な経験をしました。

行く前には撮影風景がスマホでも撮れるかと思っていました。が、撮影は厳禁で、放送もかなり先なので様子をしゃべったりしないようにとのことでした。そんな訳で写真はありません。

まあ撮影から4カ月ほど経ち、会報は会員止まりなので報告記を載せることと致しました。

（終わり）

楽しいぞ！仲間と活動

桂離宮等研修
6月12、13日



竹枝を編んで造られた塀（桂離宮入り口待合場所）

暮らしに役立ちそうなもの発見！



浄財はカエルの口へ（石山寺）



立ち入り禁止？（桂離宮）



アーチ状の竹柵（桂離宮）



竹製の雨樋（桂離宮）

報告

八橋・諏訪神社
鎮守の森保全作業

会員 佐伯健二

諏訪神社（桑浦町八橋）から伸びすぎた支障木の伐採を薪割クラブに頼まれたのは3回目になります。

6月7日（土）。午前8時半に現地集合したのは、伐倒隊長の田子一馬会員をはじめ、薪割クラブの6人の仲間。鎮守の森はこんもりとした山状



諏訪神社の鎮守の森作業
クレーン2台を使って慎重に

に繁っており、斜面に育ったタブノキなどが大木となり、道路に倒れかねない危険な状態になっています。

神社の総代会や地元町内会の皆さんと一緒になって危険木をチェーンソーで切り倒し、玉切りにして薪にするのです。そうすると神社も助かる、薪割クラブも助かる、といった関係で、毎年の恒例行事になってきました。

木は10メートル近くにも育ち、そのまま倒すと電線にかかったり、民家にも被害を及ぼしかねない。そこで、昨年からクレーンに登場いただき、作業は大

がかりになってきました。当然、危険度も増し、お互い声を掛け合って、慎重に作業を進めました。予想以上に、今年の作業を厳しくしたのは、猛暑です。みんな、熱中症にならないように、水分を補給し、汗だくになりながら懸命にチェーンソーを動かし、切り刻んだ枝を運びました。

運び出した薪材は軽トラ6杯分。作業が終了したのは午後3時過ぎ。いつも元気の薪割クラブ員も、さすがにヘトヘトでした。

薪ストーブから出た木質灰の活用

会員 岡田 直紀

1. 灰の成分

ミネラルが主成分で、主なものはカルシウム、カリウム、マグネシウム。薪を燃やした木灰は、草や樹木葉を燃やした灰に比べてカリウムの割合が少なくなります。

2. 灰の用途

2-1 土壌改良剤・肥料

灰は水に溶解するとアルカリ性を示すので、酸性に傾いた土壌を中和して、酸性を緩和する土壌改良剤として使うことができます。ただし、化学肥料と同時に散布すると、肥料に含まれるアンモニア態の窒素が気化して失われることがあるので、時期をずらして施用してください。

植物の栄養となるリン、カリウム、カルシウム、マグネシウムを含むので、作物や庭木に肥料として用いることができます。

2-2 食品加工（灰汁抜き）

2-3 その他
文献

- 1) 沢辺 攻：燃料としての木材。「木質バイオマス利用一口メモ」2023。
ワラビやゼンマイなどの山菜類の灰汁（あく）抜きに。えぐ味の素であるシュウ酸やホモゲンチジン酸などの有機酸を灰のアルカリによって中和します。栃の実に含まれる苦みの成分であるタンニンも、伝統的に草木灰を使って灰汁抜きをしています。

薪ストーブの

ユーザーには、灰を水に溶かした上澄みを洗剤として使っている人がいます。むかしから食器洗いや洗濯に使われていたのだ

とか。「灰汁のお店 京都 はいのわ」では灰汁を使った洗剤「灰の雫」を製造販売しています。ただし、アルカリ性なのでアルミ製品や毛糸には使わないで。

2) Piman, R: Wood Ash use in forestry. A Review of the Environmental Impacts. Forestry 79(5):563-588

3) 灰汁のお店 京都 はいのわ： <https://hainowa.com/>.

木質灰に含まれるミネラルの割合(%)

木質材料	リン	カリウム	カルシウム	マグネシウム
針葉樹材	2.4	12.4	22.4	4.3
広葉樹材	4.2	20.4	19	3.6
針葉樹樹皮	2.8	9.8	28.5	2.8
広葉樹樹皮	3.4	12.2	27.1	2.2

Pitman(2003)より作成。

讃郷愛林協会 会員研修旅行

「桂離宮」「石山寺」など

「風刺の効いた 「大津絵」の魅力発見

「桂離宮」（京都市

りました。

西京区）。名前は知ってはいしたが、訪問するのは初めて。讃郷愛林協会の会員研修旅行に誘われ、田栗栄一会長、明美さん、裕久さんと私、計4人で6月12、13の両日、行ってまい



石橋を渡る田栗会長（後ろ姿）

桂離宮は総面積約7畝。中央に池があり、大小5つの島に土橋、板橋、石橋を渡し、書院や茶室を構成、灯籠や手水鉢を要所に配した回遊式庭園と純日本風建築物で構成。宮家の別荘として建てられただけあって、それぞれが洗練された

美意識で貫かれている。

パンフレットの記載通り、見事なものだった。私は、それも良いが、竹を利用した雨樋や回遊路を示すアーチ状の竹柵に、もつと大きな興味を抱いた。

「これは（私たちの暮らしの中でも）使えるな」という具合に（6面参照）。

桂離宮から大津市（滋賀県）へ移動。車で1時間足らず。意外と近い。「近江を制する者は天下を制す」と言われたように戦国時代のこの地の位置、地勢は重要であった。



大津絵「提灯と釣鐘」

紫式部ゆかりの花の寺「石山寺」、由緒ある門跡寺院「圓満院」を訪ねたが、同寺併設の「大津絵美術館」が一番印象に残った。

大津絵とは江戸初期、東海道五十三次の大津の宿場で、街道を行き交う旅人らに縁起物として神仏画を描き売ったのが始まりだそう。時代の変遷とともに、ユーモアに富んだ風刺画や、狂歌を添えた道徳的な図柄も描かれるようになった。

私が気に入ったのは「提灯と釣鐘」。形は

打吹山自然観察会 9月20日

讃郷愛林協会は9月20日（土）、倉吉市の打吹山で自然観察会を開催します。10時～13時。定員20人。案内人は会員の岡田直紀さん。倉吉博物館の東側駐車場364。



打吹山の森はスギ、ヒノキに代表される常緑広葉樹に落葉広葉樹が混生する。それら樹木の葉の形に大きな、秋の輝きを感じることが出来る。秋の輝きを捉えて、あるいは秋の静けさで静かに佇む。樹木たちの生活は、ヒトの生きざまに重なる。打吹山で樹を観て、森を見て、そして人間社会について考えてみよう。

日 時：2025年9月20日（土）10時～13時、定員20名
場 所：打吹山（倉吉市博物館の東側駐車場に集合）
下山後、飛龍閣にて懇親会
参 照：岡田直紀（グラフィック・デザイン）
参加費：1000円（昼食代を含む）
主 催：讃郷愛林協会 申込先：080-4514-2364（岡田）

似ているが重さが全く異なり、比較にならないことから、物事の釣り合いが取れないことの例えに使われる。

ところが大津絵は、猿が天秤棒を担ぎ、それぞれの端に提灯と釣鐘をぶら下げている。軽いはずの提灯が下がり、重いはずの釣鐘が上がつている。これは

重んずべきものを軽ん

じるという意味で、道理が転倒した世の中の有様を風刺したものだという。

この絵を描いた作家の頭の中にあつた実在の対象は何だったのだろうか。いずれにしてもセンス抜群。すっかり大津絵のファンになってしまった。

（佐伯健二）

新会員

田栗和典さん（京都在住）。倉吉市上井の実家に今秋新ストロップを設置予定。薪割クラブ入会希望。

編集後記

今号も様々な原稿が寄せられました。どの記事がおもしろかったでしょうか。なるほどと感心された記事、思わず笑ってしまった記事など、読む人によって様々だったと思います。これからも多くの人からの投稿を待っています。（佐伯）